

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 災害対策費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警備部 警備総務課 電話番号：058-271-2424 (内 5511)

警備第一課 電話番号：058-271-2424 (内 5711)

警備第二課 電話番号：058-271-2424 (内 5761)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,886 千円 (前年度予算額：9,298 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,298	0	0	0	0	0	0	0	9,298
要求額	8,886	0	0	0	0	0	0	0	8,886
決定額	8,886	0	0	0	0	0	0	0	8,886

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、東日本大震災の教訓を受け、県警として災害発生時において、迅速・的確な救助活動を実施するために必要な人材の育成と装備資機材の強化を行う。

(2) 事業内容

- ・災害現場における部隊の対処能力向上のための訓練
- ・災害救助活動に必要な装備資機材等の整備
- ・大型輸送車運転要員の育成
- ・県民への防災・災害情報の提供 など

(3) 県負担・補助率の考え方

県内での災害救助活動に関する事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,800	治安災害警備出動・訓練等
需用費	2,013	災害活動用等消耗品、防災チラシの作成、外国人向け防災チラシの作成、装備機器の修繕
役務費	688	警報ファックス送受信経費、ガス検知器点検調整費等
委託料	4,276	大型免許教習業務の委託
備品購入費	109	チェーンソーの整備
合計	8,886	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-④ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 突発的な大規模災害の発生時において、迅速・的確な救助活動が行えるよう、災害現場での救助活動に有効な装備資機材の整備と災害現場への部隊の搬送に必要な大型バス等の運転要員を計画的に育成し、体制の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
部隊派遣回数	(H)	7回 (H29)	6回 (H30)	8回 (R元)	(H)	%
大型免許取得者数	(H)	13人 (H29)	13人 (H30)	13人 (R元)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

災害発生時の救助・救出活動を迅速・的確に行うために必要な資機材の整備や維持、人材育成に要する事業であり、目標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（1）大型自動車運転免許取得教習の受講
 令和元年度は、13人の警察官が取得し、大型輸送車の運転要員を育成した。令和2年度も13人の取得を予定している。

（2）部隊派遣
 令和元年度は、G20大阪サミット警備や、天皇陛下の御即位に伴う警衛警備等の大規模警備に部隊を派遣し、派遣先において治安維持活動に従事した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 大型自動車運転免許取得者による部隊員の搬送や整備した資機材の活用により、各種警備活動を円滑に行うことができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	災害救助活動や大型輸送車の活用は被災地の人命に直結するものであり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	部隊の派遣先において効果的な活動が行われており、成果は認められる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	業務の効率化を検討するとともに、経費の節減に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 災害現場で有効な装備資機材を整備する必要がある。大型車両運転要員の継続的な育成も必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 災害現場における迅速・的確な部隊活動による人命の救助は、最優先されるべきものであり、活動に必要となる装備資機材の整備、維持管理、人材育成を継続して推進する。 サイバー攻撃の未然防止等に活用するためのインターネット接続環境の維持管理を継続していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	

